

県連ニュース

2021年6月号 NO-527



『金原敏幸「横尾の吊り橋にいた猿」(北アルプス上高地)2015. 7. 24』

滋賀県勤労者山岳連盟

2021年 6月号 目次

リレーエッセイ	2
新理事挨拶	3
報告	
第3回理事会報告	4
第3回山スキー教室 乗鞍	5
金毘羅岩トレ	6
ぐうたら会長のつぶやき	9
6－8月行事予定表	10

表紙の写真：『横尾の吊り橋にいた猿』2015年7月15日

撮影者：滋賀山友会 金原敏幸 氏

<リレーエッセイ>

1/f

湖南岳友会 平山勝規

癒しのリズムパターン 1/f ゆらぎ。

1/f を感じると、脳内が α 波の状態になりリラックス効果を得ることが出来る。

炎のゆらめき、小川のせせらぎ、木漏れ日、木目の間隔などにも含まれている。

一定のようであり、不規則なゆらぎ。

本来は大自然でこれらを感じてリフレッシュしてきたが、このご時世、大ぴらに集うことは難しい。

特に焚火のゆらぎがたまらない。山やキャンプでの焚火は暖を取るだけでなく、火起こしから、調理、薪の爆ぜる音、煙の臭いと五感で楽しむ。アウトドア派にとって、おうち時間は忍耐とストレスの塊だが、

何とか家でも 1/f を感じたくて、オイルランタンを手に入れた。フエアハンドベイビースペシャル 276

LED や間接照明とは違うゆらぎ。自分に合ったリラックス効果で気分を上げて、日々のストレス飛んで行け。



<新任理事紹介>

ごあいさつ

教育遭難対策部を担当させて頂く事になりました、比良雪稜会の川嶋文男です。

比良雪稜会に入会して約8年ですが、それがほぼ登山経験の年数です。山以外ではマラソンも走っていますが、これも比良雪稜会のメンバーから誘われて始めたので、会の影響をかなり受けていると思っています(笑)まだまだ山の経験も少なく、知識や技術も不足しているので、どこまで理事としてお役に立てられるのか、少々不安ではありますが、宜しくお願い致します。

クリーンハイクは

緊急事態宣言が発令されたら ⇒ 延期

県連主催のクリーンハイクは滋賀県に緊急事態宣言が発令された場合(県独自の場合を含め)、コロナの感染が収まるまで延期することになりました。また、宣言が発令されなくても各ルートで独自に判断してほしい

2021年度5月度(第3回)理事会議事録

2021.5.12(水) 19:00~20:00 浜大津明日都一階

出席;中島、古川、田中、村田、宮内、池田(記録)

(ZOOMで参加)山元、平山、川口

欠席;(連絡あり)友永、川嶋

下記の議題につき、提案・協議・検討・決定をした。

1 清掃登山の進捗状況報告(宮内)

議題の内容に入る前に古川理事より「滋賀県にも緊急事態宣言が発令されたら清掃登山をどうするのか決めておく必要がある」という発言があり協議した。協議の結果、県連としては延期という措置をすることで確認した。緊急事態宣言が出なくても、各会場の独自判断で進めて欲しいとした。県連ニュース6月号に掲載

続いて、以下の進捗状況を確認した。

- ・チラシについては4月20日に各会に郵送した。
- ・しおり/手引きの印刷は宮内理事長が行う。5月18日に郵送予定。
- ・各会場には県連理事が参加する。まだ県連理事が不参加の5月29日の綾野山歩会の飯道山には新たに県連理事の中島理事が参加することで確認した。
- ・各会場のゴミ量と写真(jpg)はデータで6月9日までに宮内理事長に送る。
- ・県連ニュース7月号(6/15〆切)に載せるために各会場の実施原稿を提出する。

2 各部報告

機関誌部 :

- ・県連ニュース6月号は原稿締切り5/15。リレーエッセイは湖南岳友会・平山。
表紙写真は山友会・金原氏。

組織部:4月末会員数動向(166/162)3月末比

山友	岳友	雪稜	彷徨	ちごゆり	シャクナゲ	
57/56	33/32	45/44	10/9	16/16	5/5	
合計 2021 4E/2021 3E						
166/162		102・5				

自然保護部 :

- ・7月10日~11日 第24回全国自然保護講座(京都) 中島理事が参加。

教育遭対部

- ・遭難防止のために実技がよいか聴講がよいか理事会に諮りたいという提案があった。理事会としてはこういう時期なので人を集めての聴講は無理という結論。

その他検討事項

- ・事務局から「ヒアリハット事例研究会」を行う提案があった。方法としてはヒアリハット事例研究会として参加者を募る。但し、ZOOM参加とメール参加に限定し報告は県連ニュースで共有する。教育遭対部で実施してもらう。
- ・全国連盟に2021年度安全対策基金を申請する。

3 全国連盟の会議予定等の連絡事項

- ・6月 全国機関紙会議・全国ハイキング活動者会議・第1回全国登山研究集会
- ・7月3日~4日 第3回全国救助技術者交流集会 福岡県
- ・7月10日~11日 第24回全国自然保護講座 京都府ゼミナールハウス

次回第4回理事会 6月9日(水)

※メール配信会議とする。

<第3回 山スキー教室(報告書)>

北アルプス乗鞍岳

報告者：T中（滋賀山友会）

日程：2021年4月17日～18日

参加者：CL T中(山友会)、SL M田(岳友会)、N西(彷徨)、記録：G弥(比良雪)

工程：17日 滋賀＝さわんど温泉「ともしび」泊

18日 宿泊地＝乗鞍高原 三本滝レストハウス前

駐車場～かもしかりフトトップ～位ヶ原下部

分岐看板前～かもしかりフト～駐車場＝滋賀

土砂降りの雨の中滋賀を出発。翌日は雨は止む予報だが、雪、風の予報。スキーをせずに温泉巡りになるかもと思いながら沢渡の宿に入る。破格の宿泊代で不安があったが、小綺麗な上、お風呂は露天風呂。宿の奥様は明るく親切。

食事の前に、部屋でミーティング。N西さんのおニューの山スキー道具で装備の説明。雪山での服装について。その後、雪崩についての講習があった。前日まで暖かい日が続いての雨、そして雪になるコンディション。雪崩が他人事ではない事を実感した。続いてビーコンの使い方と実際に作動させて操作の確認をした。

朝になると雨は止んだが、雪がチラホラした。8時より三本滝レストハウス駐車場に車を停めてシールを貼って登る。スキー場を横切るように走る道路は除雪の影響で大きく段がついていて乗り越えるのに難儀はしたが、今朝からの雪がアイスバーンの上に積もっていて、春スキーにしては軽くふかふかのコンディションになって



いた。風が心配だったが、樹林帯の中はさほどきつくはなかった上から降りてくる人の話では樹林帯を抜けた上は強風で、みなそこから引き返しているとのことでした。位ヶ原手前の分岐の看板(先日の雪崩到達地点でシールを取って滑る用意をした。ずっと降雪していたお陰で先に降りた人達のシュプールは消えて、自分達のシュプールを楽しみながら滑走できた。帰りは少し寄り道をして冷え切った体を白骨温泉で温めて家路についた。〈記録 G弥〉

【山スキー教室に参加して】

春山でスキー板を担いで昇るひとを見かけて

も自分がするとは思っていませんでした。今回縁あって体験させていただきありがとうございました。登山同様、登るのは大変でしたが、自然の中を滑り降りる醍醐味を少し楽しめました！！〈記 G弥〉

今年から始めた山スキー教室に、新規で男性1名、女性3名参加して頂きました。ある人に言わせると山スキー程、おもしろいものはない。その方は、お世辞にもスキーは上手ではない。しかし、自分のコントロールできるスピードで安全に滑る降りてこられる。

山スキーの魅力とは、自分でルートを見つけ、登りそして滑り降りる。たったそれだけだが、登山道を歩いて頂上に立ったときとは違った達成感がある。天気の良い日には白銀の世界に自分たちだけのシュプールを描く。

ヘタクソでも誰も見ていないので気にしない。転倒しても笑って過ごす。そんな山スキー 来年も実施しますので、より多くの方の参加をお待ちしています。



<報告>

CSS 金毘羅岩トレ

日程: 2021年4月25日(日)

天気: 曇り時々晴れ

行程: JR 堅田駅 8:00~9:30「船」岩トレ開始~北尾根に移動~15:00 撤収

参加者: 谷内 CL(彷徨倶楽部: 講師)

濱野 SL・其阿弥・玉田・木村(比良雪稜会)、村田・平山(湖南岳友会)、信森・本田(彷徨倶楽部)、川口(滋賀山友会)

CSS では今シーズン初となる岩トレを京都・金毘羅山の岩場で行いました。

総勢 10 名の大所帯になり、最初に「北尾根」で 3 人・3 人・4 人のグループに分かれて登りました。

ダブルロープでリードとフォロー 2 人が登った後、改めてシングルロープを張って次の人を引き上げるなどしたので少し手間がかかりましたが、気を付けるべきことは多く、すぐに時間が過ぎていきました。

お昼を挟んで「船」に移動し、ルートを変えてシングルピッチ登攀と懸垂下降を中心に練習を行いました。

1 回のトレーニングで隅々までポイントを抑えることは難しいと思いますが、経験の多い人も少ない人も、みなさんそれぞれに課題を見つけれられたのではないのでしょうか？

1 点だけ気付いたこととして、バックアップ無しで懸垂下降をする時は、必ず誰かが下でロープを握っておくよう、確認を徹底しておいた方がよいと思いました。順番を待っている間に少し肌寒くなってきたところでトレーニング終了となり、駐車場へ向かう間にポツポツと雨粒が落ちて来始めました。



クライミングは十分に原理を理解していることが何より大切ですが、型通りの原則だけ知っていても、実際の現場で経験を積みなければ、状況に応じた適切な動作に結び付きません。

その点、参加者の間で「確実に身に着けていけるよう、基本を確認し合いながら自主トレーニングをしよう」という話がまとまったのは、大きな収穫でした。

(報告者: 信森)

岩トレは2回目でしたが、登れるかどうかの不安や緊張もあり、自分の身の回りのことで手一杯で、ロープのシステムをきちんと把握することができませんでした。段取りよく進めていけるように、見通しを持って

行動できるようになりたいと思いました。

谷内さん、そしてみなさま、充実した一日をありがとうございました。(玉田)

久しぶりのクライミングで楽しかったです。懸垂下降のセットをいろいろ試しましたが上手いきませんでした。勉強して次回にのぞみたいです。村田会長のロープの束ね方のきれいなこと！講習時練習していましたが最近いい加減になっていました。反省です。(其阿弥)



クライミングジムに通っていますが、外岩となると、リードやビレイが複雑で、考えながらやらないと出来ない状態でした。数をこなして体が勝手に動くようになりたい所です。

皆様お疲れ様でした。(川口)

岩トレではお世話になりありがとうございました。ザイルの扱いは、室内で3年ぶり、岩トレも5年ぶり(前回は金比羅)帰宅後、普段使わない肩まわりや足のつま先が痛く、懐かしく思いました。基本的には縦走中心の山遊びをしています。縦走路の途中で登場する、岩場を安全に越えるため、岩トレも必要なトレーニングと思っていますので、このような機会がありましたら、積極的に参加させていただきたく



と思っていますので、今後ともご指導宜しく願いいたします。(本田)

何年ぶりだろ…という岩登りでした。ハーネス、クライミングシューズを買いに走り参加させて頂きました。初めてご一緒する方も多く緊張一入でしたが、都度アドバイス頂きながら、又、姿を見て学ぶ事も多く、とても勉強になる練習会でした。ありがとうございました。また機会ありましたらよろしくお願いします。(木村)

初心者から慣れた人まで幅がありチーム編成は難しいです。それでも各人が何か得られたとしたら良かったと思います。

基本的なロープワークは数をこなすと習得できます。セルフビレイとトップのビレイは基本中の基本なのでシステムを身体で覚えていくと良いです。

ビレイができるとパートナーとしての安心ができるのでクライミングがより楽しくなります。(谷内L)



ぐうたら会長のつぶやき

友永芳和

コロナの緊急事態宣言の出ている所もありますが、幸いにも滋賀はまだ発令されていません。そこで今年は清掃登山を実施する事となりました。コロナも1年が経ち、消毒やマスク着用、三密回避など必要な感染対策も増えてきました。少なくとも山は三密になる事は避ける事が出来ます。いつまでも後ろ向きではなく前に進む必要もあると思います。清掃登山もソーシャルディスタンスをとるなど必要な感染対策をして行いましょう。集会なども注意事項など必要最小限にして密を避けましょう。行動中はマスクをするのは大変なので、人と人の間は距離をとり不要なお喋りは避けましょう。それぞれが十分に注意して行動し感染者をださないようにしてください。よろしくお願いします。

今、手持ちのCDやレコード、テープ、DVDなど全部を聞きなおしています。買っただけで一度しか聞いていないレコードやテープ、CDなどがたくさんあります。改めて聞くと、こんなん買っていたかな、なんて言う物もあります。買った以上は一度しか聞かないと言うのは申し訳ないと思っています。最低1日に1枚は聞こうと思っていますが、それでも全部聞くには2年くらいかかるかな…もったかも？ テープは以前80年代にFM放送を録音した「セッション8X」と言う番組を聞いています。ジャズを中心にしたライブ録音です。昔懐かしい「カシオペヤ」や「今田勝ナウ・イン」「本多俊之ラジオクラブ」もちろんジョージ川口や松本英彦なんかも懐かしく聞いています。亡くなった方も、今でも老体に鞭打って頑張っている方もおられます。レコードは昔同級生に買わされたクラシック全集を聞いています。それが済めば渡辺貞夫さんや穂吉敏子さんのレコードやCDを聞く事になるのかな。ポップス系はビートルズとサイモンとガーファンクルしかありません。もちろん日本人の美空ひばりさんや、高橋真梨子、五木ひろし、平原綾香さんなんかも聞く予定です。

聞いているとその時々的情景や状況が懐かしく思い出されます。あの人どうしているかな、まだ頑張っているのかな？ なんて失礼な事も思ったりしています。自分自身のその当時の事なども蘇ってきます。

長く生きると言うのは色んな物をためてしまいますネ。本当に必要な物より不要な物が多すぎるようです。だから死ぬ前に色んな物を捨てなければならないのですネ。何を捨て、何を残すか、考えても結論は出ませんが、少なくとも最後は自分自身さえ捨ててしまわなければならないのだと思います。

何かまとまりのない淋しい話になってしまいましたが、これがとりとめのない「つぶやき」です。

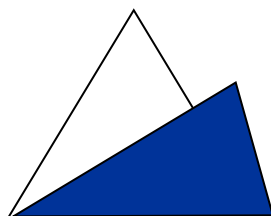
行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
	1	ステップアップ登山講座2021 (ON LINE オリエンテーション、CSS)		6	伊吹山	山友
				6	近江湖南アルプス・天狗岩	山友
				6	比良・正面谷・隠れ滝	ちご
	6	清掃登山		6	湖南アルプス・矢筈ヶ岳・太神山	岳友
				6	マキノ・寒風山	シャク
				6	竜王・雪野山	彷徨
6				6	南比良2コース	雪稜
	9	メール理事会		後半	坂本～大津京ウォーキング	ちご
				13	比良・比叡トレイル(例会)	彷徨
				13	オールラウンド部例会「天ヶ岳」	山友
				20	鈴鹿山系/御池岳	岳友
				20	ハイキング部例会「水坂峠～武奈ヶ嶽」	岳友
				20	夜叉ヶ池	雪稜
	7	理事会(明日都浜大津ZOOM併用)		7	千石岩 岩トレ	岳友
				11	伊吹山	岳友
				11	三上山	ちご
7				23-27	妙高火打山～焼山	彷徨
	22-25	ステップアップ登山講座2021(2) 北アルプス・黒部川源流周回		後半	京都トレイル(向山)	ちご
	1	比良白滝谷(CSS)沢登り		1	白滝山 沢登り	岳友
				6-10	北アルプス雲の平～黒部五郎岳	彷徨
				13-17	皇海山 榛名山	彷徨
8	21-22	ステップアップ登山講座2021(3) ハヶ岳・南稜～阿弥陀岳		20～22	越百山 テント泊	岳友
				27-30	南アルプス塩見岳	彷徨

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット;山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀



2021年7月号の原稿は、6月15日〆切です。

原稿の投稿先は 古川 tfurukawa@dj8.so-net.ne.jp

村田 k-hiyake@hera.eonet.ne.jp

用紙サイズは A4、フォントは本文 11~12、タイトル 14~16、

余白は上下左右 19mmとし、

使用する写真は 200KB 以内としてください。

皆様のご協力をお願いいたします。

『県連ニュース 2021 年 6 月号』 NO.527

発行日：2021年 5 月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

TEL 080-4971-6231

〒520-0047

Email shigarosan@gmail.com

大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1F

ゆうちょ銀行(店名418)

大津市市民活動センタースモールオフィス内

普通 0239956

メールボックス NO13

<http://shigarousan.jimdo.com/>

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 古川 哲郎 村田 啓二